

年末年始・春節期間中の家畜防疫対策の徹底

- ◆口蹄疫に関してはアフリカ、中東、中国、特に中国では最近再燃の傾向がみられ、アフリカ豚熱に関しては欧州から東アジアに渡る広範囲で発生、フィリピン、スリランカ等、渡海して発生もしています。
- ◆豚熱に関しては平成30年9月以来、北海道を除く国内広範囲で豚・いのしし飼養農場、野生いのししで発生が確認されています。
- ◆ランピースキン病に関しては本年11月に国内侵入を許し、現在、福岡県、熊本県内の複数の牛飼養農場で発生が確認されています。



- ◆畜産関係者は上記の家畜伝染病発生地域への渡航の自粛、併せて、発生地域からの畜産物等の持込み厳禁の徹底をお願いします。
- ◆衛生管理区域を含めた農場敷地内、畜舎内へ出入する際は、「専用の衣類、長靴、手袋等の着用」、「その都度、長靴底、衣類、手指等の消毒」を徹底し、病原体の持ち込み防止に努めてください。
- ◆特にランピースキン病に関しては、今後、国内浸潤が広がる可能性があるため、裏面を参考に府内侵入防止の徹底をお願いします。
- ◆毎日の家畜の健康観察を徹底し、異常を認めた場合は、速やかに家畜保健衛生所への連絡をお願いします。

ランピースキン病の感染拡大防止！

車両や人による

農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバ工等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだサシバ工等**も、**確実に殺虫**！

特に寒い時期、サシバ工等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に
集まったハ工



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバ工等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接接触する者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒
- **聴診器等、皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！

